

癌化学療法レジメン登録書

レジメン名	Pembrolizumab+CBDCA+PTX
対象疾患	ホルモン受容体陰性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌における術前薬物療法
1クールの日数	21日
目標コース数	4コース

	抗がん剤名	略号	1日投与量	単位	投与方法	投与時間	投与日
1	キイトルーダ		200	mg/body	div	30分	d1
2	タキソール	PTX	80	mg/m ²	div	60分	d1,8,15
3	カルボプラチン	CBDCA	AUC1.5	下記参照	div	30分	d1,8,15
4							
補足	カルボプラチン：Calvertの式より算出 投与量(mg) = 目標AUC(mg/mL × min) × [GFR(mL/min)+25]						

催吐リスク	中等度
前投薬	パロノセトロン注0.75mg、デカドロン注9.9mg、ファモチジン注20mg、ポララミン注5mg
減量規定	キイトルーダ：減量規定なし、 カルボプラチン、パクリタキセル 好中球減少(Grade3以上)、発熱性好中球減少(Grade3以上)、血小板減少(Grade1以上)、 悪心・嘔吐(Grade3以上)、粘膜炎又は口内炎(Grade3以上)、神経毒性(Grade3以上)などで減量基準あり 減量目安：パクリタキセル 1段階減量…70mg/m ² 、2段階減量…中止 カルボプラチン 1段階減量…AUC1.1、 2段階減量…中止
主な副作用	骨髄抑制、悪心・嘔吐、食欲不振、倦怠感、掻痒症、発疹、末梢神経障害、脱毛、関節痛・筋肉痛、口内炎、便秘・下痢、肝機能障害 ※注意を要する副作用 間質性肺疾患、大腸炎、肝機能障害、腎機能障害、内分泌障害(下垂体炎、症候性の内分泌障害、甲状腺機能障害、高血糖、1型糖尿病)、infusion reaction、心筋炎、脳炎、ギランバレー症候群
参考文献	適正使用ガイド(キイトルーダ、タキソール)、添付文書・IF(カルボプラチン) N Engl J Med 382,810-821(2020) 乳癌診療ガイドライン2022年、制吐薬適正使用ガイドライン2023 (日本癌治療学会)
その他	キイトルーダ、タキソール：インラインフィルター使用 キイトルーダ：最終濃度1~10mg/mLに調製

投与スケジュール

Day (1)			
滴下順	手技・薬品名・規格	用量	投与時間
1	点滴末梢 メイン1 生理食塩液250mL 1日1回(持続)	1本	持続
2	点滴末梢 メイン1側管1 パロノセトロン注バッグ0.75mg ファモチジン注20mg ポララミン注5mg デカドロン注6.6mg デカドロン注1.65mg 1日1回	1本 1本 1本 1本 2本	15分
3	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液100mL キイトルーダ注 1日1回 インラインフィルター使用	1本 200mg	30分
4	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液50mL 1日1回	1本	全開
5	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液250mL タキソール注 1日1回 Rp2投与後30分空ける インラインフィルター使用	1本 80mg/m ²	60分
6	点滴末梢 メイン1側管1 5%ブドウ糖液250mL カルボプラチン注 1日1回	1本 AUC1.5	30分

Day (8.15)			
滴下順	手技・薬品名・規格	用量	投与時間
1	点滴末梢 メイン1 生理食塩液250mL 1日1回(持続)	1本	持続
2	点滴末梢 メイン1側管1 パロノセトロン注バッグ0.75mg ファモチジン注20mg ポララミン注5mg	1本 1本 1本	15分

	デカドロン注6.6mg デカドロン注1.65mg 1日1回	1本 2本	
3	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液250mL タキソール注 1日1回 投与前30分空ける インラインフィルター使用	1本 80mg/m ²	60分
4	点滴末梢 メイン1側管1 5%ブドウ糖液250mL カルボプラチン注 1日1回	1本 AUC1.5	30分